



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 寺下 和良 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	322,711	2.0	37,321	△23.8	38,700	△21.3	27,373	△22.9
2019年3月期第3四半期	316,373	4.1	49,008	△3.5	49,155	△10.0	35,492	2.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 27,744百万円(12.7%) 2019年3月期第3四半期 24,622百万円(△51.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	131.78	—
2019年3月期第3四半期	170.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	667,150	410,933	61.0
2019年3月期	629,417	401,505	63.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 406,918百万円 2019年3月期 399,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	433,000	1.9	54,000	△7.5	54,000	△8.9	39,000	△8.5	187.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.10 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	208,911,620株	2019年3月期	208,911,620株
2020年3月期3Q	3,022,818株	2019年3月期	739,357株
2020年3月期3Q	207,715,720株	2019年3月期3Q	208,283,558株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、役員報酬 BIP 信託及び株式付与 ESOP 信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P.4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定について

2019年3月期第3四半期連結会計期間に行われた企業結合について、2020年3月期第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理の確定を行っています。

比較情報の前連結会計年度については、これらの暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

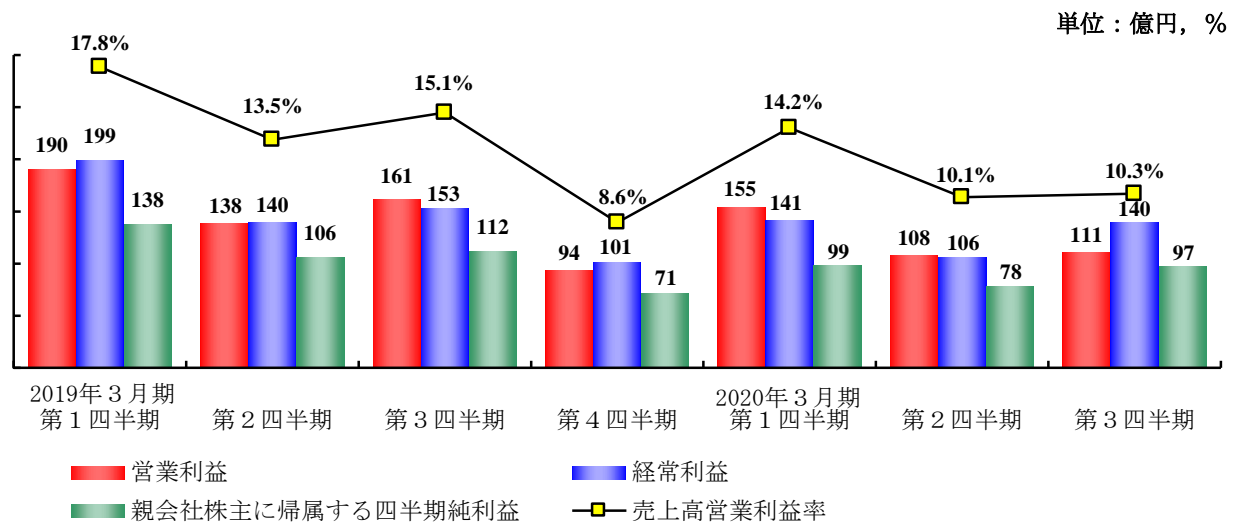
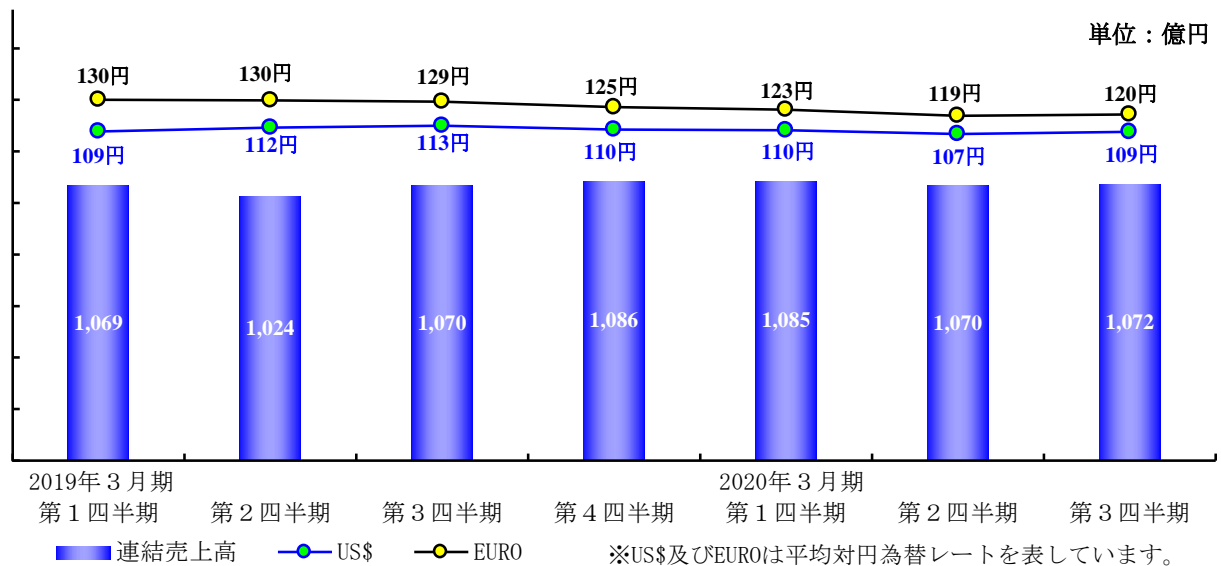
(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国においては良好な雇用・所得環境に支えられた個人消費が好調であるものの、外需の減速や通商政策をめぐる不確実性の高まりを受け、企業による設備投資が低迷しています。欧州においては雇用・所得環境の改善が続くなか、底堅い個人消費が景気の下支えとなっていますが、外需の減速や政治をめぐる不確実性の高まりが景気の重石となっています。中国においては貿易摩擦の影響等から外需の低迷が続いているほか、内需の回復にも遅れが生じています。わが国経済においては雇用情勢や所得環境の改善が継続しているものの、消費税増税による個人消費への影響や、外需の低迷による輸出の伸び悩み等から、足元では景気に停滞感が見られます。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、米国においては安定した労働環境、堅調な個人消費等販売を後押しする環境はあるものの、自動車販売価格の上昇等といったマイナス要因が需要に影響を与えています。中国においては、景気の減速を背景に2019年通年での新車販売は前年比減少となりましたが、2019年後半にかけては減少幅が縮小しています。

また、半導体業界においては、データセンター向け投資の減速や貿易摩擦の影響を背景としたメモリーメーカーの投資抑制により需要が低迷しています。

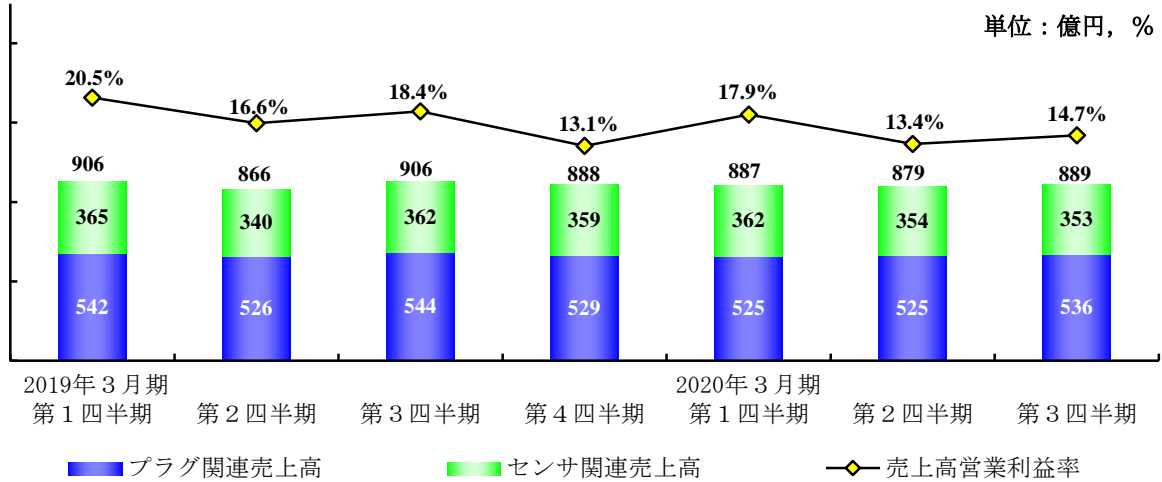
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,227億11百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は373億21百万円(前年同期比23.8%減)、経常利益は387億円(前年同期比21.3%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は273億73百万円(前年同期比22.9%減)となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、市場環境等の悪化はあるものの、新車組付用製品の販売は堅調に推移しました。また、補修用製品の販売について、一部の地域で前年度を下回ったものの、米国及び中国市場で堅調に推移しましたが、為替相場においては前年度に比べ円高に振れていることから売上高及び営業利益の減少要因となっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,655億34百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は407億67百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

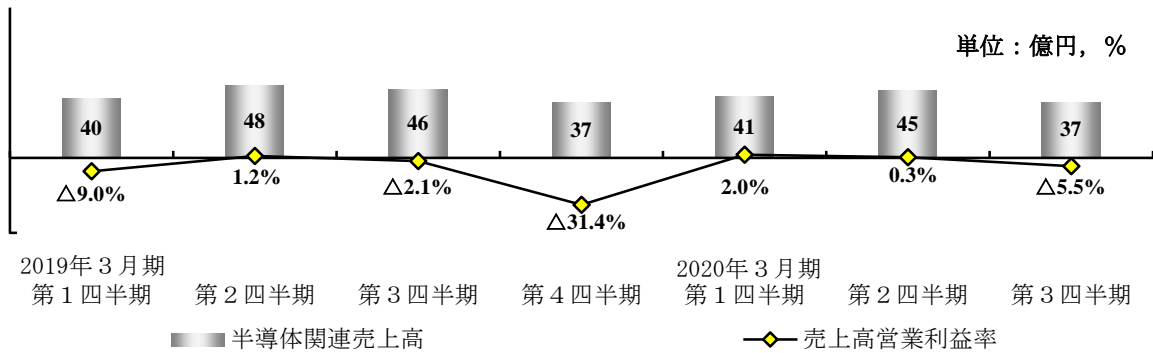


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、前年度に引き続き製品の選択と集中及び人員削減等の合理化を推し進めていますが、当第3四半期においては客先所要の低迷により売上高が伸び悩みました。

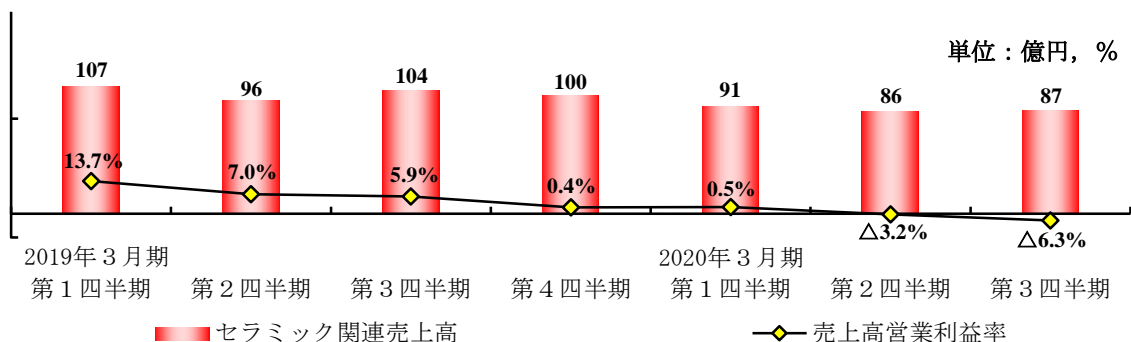
この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は122億41百万円（前年同期比8.5%減）、営業損失は1億13百万円（前年同期は3億95百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向け出荷は市場環境等の悪化により落ち込みが見られ、また半導体製造装置用部品においては半導体業界の落ち込みの影響を受け、前年度を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は264億34百万円（前年同期比13.9%減）、営業損失は7億84百万円（前年同期は27億57百万円の営業利益）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期第3四半期	328,611	338,538	667,150	256,216	410,933
2019年3月期	311,100	318,316	629,417	227,911	401,505

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 377 億 32 百万円増加の 6,671 億 50 百万円となりました。これは、主として現金及び預金並びにたな卸資産が増加したこと、設備投資並びに「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、米国を除く在外子会社において第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用したことに伴い、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比 283 億 5 百万円増加の 2,562 億 16 百万円となりました。これは、主として社債の発行及び長期借入金の増加並びに有形固定資産の増加と同様に、米国を除く在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことに伴い、リース債務が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比 94 億 27 百万円増加の 4,109 億 33 百万円となりました。これは、主として配当金の支払による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期第3四半期	34,316	△38,943	19,308	88,562
2019年3月期第3四半期	26,612	△34,493	△13,139	66,002

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 77 億 3 百万円増加の 343 億 16 百万円となりました。これは、主として売上債権が増加したものの、たな卸資産の増加額が前年同期比で減少したこと、及び法人税等の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 44 億 49 百万円増加の 389 億 43 百万円となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 324 億 47 百万円増加の 193 億 8 百万円となりました。これは、主として社債の発行及び長期借入れによるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 3 億 68 百万円を控除した純額で 143 億 12 百万円増加し、885 億 62 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月28日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,639	58,529
受取手形及び売掛金	96,834	97,043
有価証券	34,921	35,754
たな卸資産	113,124	116,538
その他	18,423	21,557
貸倒引当金	△841	△812
流動資産合計	311,100	328,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,661	73,874
機械装置及び運搬具（純額）	110,166	124,864
土地	21,382	21,422
建設仮勘定	25,625	21,723
その他（純額）	4,885	5,832
有形固定資産合計	228,720	247,718
無形固定資産		
のれん	3,179	2,735
ソフトウェア	5,722	6,275
その他	4,756	4,399
無形固定資産合計	13,658	13,411
投資その他の資産		
投資有価証券	63,310	67,596
繰延税金資産	11,235	8,078
その他	1,510	1,853
貸倒引当金	△119	△119
投資その他の資産合計	75,937	77,408
固定資産合計	318,316	338,538
資産合計	629,417	667,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,957	31,653
短期借入金	27,587	10,986
1年内償還予定の社債	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	9,924	9,924
リース債務	52	525
未払法人税等	9,126	2,221
その他	40,734	35,949
流動負債合計	122,382	121,259
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	23,062	48,100
リース債務	129	3,086
退職給付に係る負債	30,254	31,735
株式給付引当金	201	224
繰延税金負債	618	607
その他	1,262	1,203
固定負債合計	105,528	134,956
負債合計	227,911	256,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,639	54,531
利益剰余金	297,754	310,508
自己株式	△1,741	△6,766
株主資本合計	398,522	406,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,872	26,589
為替換算調整勘定	△20,027	△22,029
退職給付に係る調整累計額	△4,293	△3,783
その他の包括利益累計額合計	551	775
非支配株主持分	2,431	4,015
純資産合計	401,505	410,933
負債純資産合計	629,417	667,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	316,373	322,711
売上原価	205,475	219,487
売上総利益	110,897	103,223
販売費及び一般管理費	61,889	65,901
営業利益	49,008	37,321
営業外収益		
受取利息	682	536
受取配当金	1,364	1,363
持分法による投資利益	—	502
その他	1,005	1,261
営業外収益合計	3,052	3,664
営業外費用		
支払利息	427	552
持分法による投資損失	130	—
為替差損	410	994
その他	1,936	739
営業外費用合計	2,904	2,286
経常利益	49,155	38,700
特別利益		
固定資産売却益	24	19
投資有価証券売却益	148	82
特別利益合計	173	101
特別損失		
固定資産処分損	741	326
投資有価証券評価損	1	—
投資有価証券売却損	0	—
和解金	—	185
特別損失合計	744	511
税金等調整前四半期純利益	48,584	38,290
法人税、住民税及び事業税	11,406	8,606
法人税等調整額	1,445	2,205
法人税等合計	12,852	10,812
四半期純利益	35,732	27,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,492	27,373

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	35,732	27,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,010	1,716
為替換算調整勘定	△3,577	△1,754
退職給付に係る調整額	481	503
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△199
その他の包括利益合計	△11,110	266
四半期包括利益	24,622	27,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,497	27,597
非支配株主に係る四半期包括利益	125	146

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,584	38,290
減価償却費	17,572	22,201
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	735	2,194
受取利息及び受取配当金	△2,046	△1,899
支払利息	427	552
持分法による投資損益 (△は益)	130	△502
固定資産処分損益 (△は益)	717	307
投資有価証券売却損益 (△は益)	△148	△82
売上債権の増減額 (△は増加)	△742	△1,467
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,314	△4,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,928	△2,539
その他	△8,632	△2,723
小計	44,213	49,808
利息及び配当金の受取額	1,950	2,259
利息の支払額	△451	△574
法人税等の支払額	△19,100	△17,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,612	34,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	501	3,098
有価証券の純増減額 (△は増加)	16,981	△54
有形固定資産の取得による支出	△36,257	△38,888
無形固定資産の取得による支出	△2,099	△1,996
投資有価証券の取得による支出	△1,245	△1,321
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,250	126
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△14,957	—
その他	332	92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,493	△38,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,716	△16,422
長期借入れによる収入	100	30,000
長期借入金の返済による支出	△5,000	△4,962
社債の発行による収入	19,892	29,852
社債の償還による支出	△25,000	—
自己株式の取得による支出	△5,002	△5,073
配当金の支払額	△13,590	△14,582
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,207
その他	△255	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,139	19,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△356	△368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,376	14,312
現金及び現金同等物の期首残高	87,378	74,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,002	88,562

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月28日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月29日から2019年12月31日までの期間において2,268,500株の自己株式を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,766百万円となっています。

(会計方針の変更)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また、当該基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の資産が3,515百万円増加、負債が3,534百万円増加、利益剰余金が19百万円減少しています。資産の増加は主として有形固定資産、負債の増加は主としてリース債務の増加によるものです。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。今後、新たな事実が判明した場合は追加の損失が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難です。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミック セラミック	セラミック 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	267,916	13,380	30,716	44,096	312,012	4,360	316,373	—	316,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	267,916	13,380	30,716	44,096	312,012	4,360	316,373	—	316,373
セグメント利益 又は損失(△)	49,607	△395	2,757	2,362	51,969	△2,961	49,008	—	49,008

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	技術的 半導体	セラミックス セラミック	関連 計					
売上高									
外部顧客への売上高	265,534	12,241	26,434	38,676	304,210	18,501	322,711	—	322,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	265,534	12,241	26,434	38,676	304,210	18,501	322,711	—	322,711
セグメント利益 又は損失(△)	40,767	△113	△784	△898	39,869	△2,547	37,321	—	37,321

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。